

ものれ〜る 59号



平成 27 年 8 月 1 日発行

ご意見・ご感想をお寄せください。

発行 武蔵村山市都市整備部多摩都市モノレール推進担当

Tel 042-565-1111(内線 273)/Fax 042-566-4493/E-mail tamamono@city.musashimurayama.lg.jp

東京都（平成27年7月）

広域交通ネットワーク計画について 《交通政策審議会答申に向けた検討のまとめ》

が、発表されました。

国は、平成12年の運輸政策審議会答申第18号の目標年次が近づいたことから、平成26年4月に交通政策審議会へ諮問しており、今後、平成27年度中に審議会答申が取りまとめられる予定です。

都においても、次期答申に向け、学識経験者等で構成する広域交通ネットワーク計画検討委員会を設置し、現答申の未着手路線を中心に調査検討を進め、平成27年3月にその時点の検討状況を中間まとめとして発表しました。その後、路線の整備効果や収支採算性・費用便益比などについて検討を深め、検討結果の取りまとめを行いました。

この中で、**多摩都市モノレール延伸（箱根ヶ崎方面）**は、**整備について優先的に検討すべき路線（5路線）**の一つとして位置付けられました。整備効果及び今後の課題については下記のとおりです。

【整備効果】

本路線は、多摩都市モノレールの開業区間と一体となって、多摩地域の南北方向を中心とした拠点間の連携強化に資する路線である。

分析の結果、利用者は、延伸区間のみにとどまらず、立川駅付近においても約3割程度の乗客増加が見込まれるなど、開業区間の利用者増加にも寄与する。なお、分析にあたっては、インフラ外部^{※1}に社会資本整備総合交付金を活用すると設定している。

多摩地域において、鉄道利用が必ずしも便利でない地域内を結ぶことで、移動時間が短縮されるなど、沿線利用者の利便性向上と多摩地域の活力や魅力の向上につながる。

【今後の課題】

事業費については、インフラ外部に対し国などからの補助について協議を行うほか、導入空間も含めインフラ部^{※2}は地方自治体による投資が多額であり、財源の確保が必要である。また、関係者間において、幅広く費用負担の在り方を含めた事業スキームを検討する必要がある。

なお、本路線は導入空間となりうる道路整備に既に着手しているが、収支採算性確保の観点から、将来の輸送需要動向を十分に見極める必要がある。

※1：インフラ外部：軌道事業者により整備される車両、駅舎の内装、通信設備、線路設備、電車線、配電線、変電所等

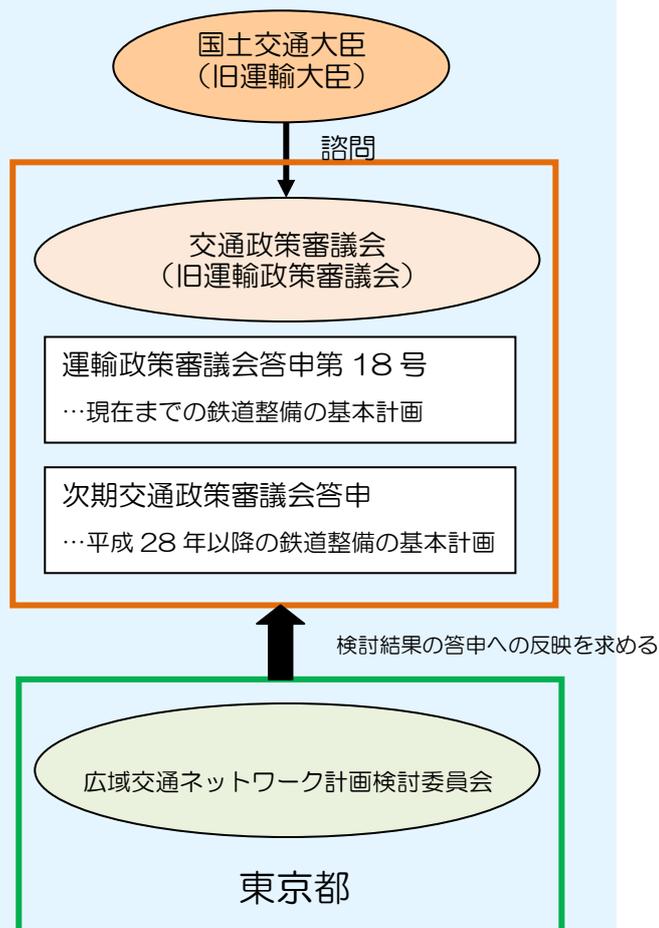
※2：インフラ部：道路構造物として道路管理者により、整備される支柱、桁、床板、駅舎の骨格、（屋根、壁、柱等）、交通安全施設等

交通政策審議会答申とは・・・

平成27年は、平成12年に出された運輸政策審議会答申第18号（以下「現答申」と表記します。）の目標年次となっています。国は、現答申に続く交通政策審議会答申（以下「次期答申」と表記します。）（運輸政策審議会は平成13年度に交通政策審議会に改称）を平成27年度中に取りまとめる予定です。

交通政策審議会の前身である運輸政策審議会は、運輸大臣（現国土交通大臣）の諮問機関であり、現答申では、「東京圏における高速鉄道を中心とする交通網の整備に関する基本計画について」が示されました。東京圏の鉄道整備は、これまでこの基本計画に基づき進められてきました。

本年度は、この答申の目標年次となっており、これに続く次の基本計画すなわち次期答申が取りまとめられる準備段階にあります。



今後、市は、多摩都市モノレール延伸(箱根ヶ崎方面)が次期答申に位置付けられるよう取り組んでまいります。

観光納涼花火大会

が開催されます！



お囃子
はやし連による

打ち上がり
夜空に綺麗な花火が



開催日：平成27年8月29日（土）※荒天時は30日（日）

開催時間：午後2時から午後9時30分まで

（花火打ち上げは午後7時45分から）

会場：野山北公園運動場

バスによる

アクセス：MMシャトル 上北台ルート、玉川上水ルート「村山温泉かたくりの湯」下車、徒歩2分。

※かたくりの湯発のMMシャトルは午後5時台で終了。

※MMシャトルの折り返し場所は、午後5時以降はのぞみ福祉園駐車場になります。

見所：2015発の花火が真夏の夜を華やかに彩ります。「メッセージ花火」はご存じですか？大切な人への想いを込めた花火を打ち上げられます。

この日は、**モノレール関連グッズ**の販売も行います！